

# 平成20年10月教育委員会臨時会会議録

## 付議事項

### 議案第30号 平成21年度和歌山県立高等学校入学者選抜実施日程等（案） について

県立学校課長から、連携型中高一貫教育校で実施する「特別選抜」、前期選抜・後期選抜に替えて新たに導入する「一般選抜」、中学校長からの推薦に基づき指定する競技スポーツに優れた実績等を持つ生徒を対象として実施する「スポーツ推薦」、合格者が募集定員に満たない学科で実施する「追募集」における入学者選抜実施日程等について説明があった。8月教育委員会定例会で決定した入学者選抜実施要項からの主な変更点は、「特別選抜」については、出願等の日程を約10日遅らせて実施すること。「一般選抜」については、募集定員を定めたすべての学校・学科で実施して、出願は1校1学科とし、同一校に限り出願した学科以外の学科を第2志望として出願できることは従来の後期選抜と同様であるが、一般出願のあと県教育委員会は出願者数を公表し、その後本出願を行うとしたことに伴い、本出願にあたっては、一般出願時に志望した学校・学科を一回に限り変更できるとしたこと、学力検査、面接・実技検査等及び合格発表の日程は後期選抜の実施予定日程と同様であるが、一般出願及び本出願を実施することに伴い、出願受付期日を変更したこと。「スポーツ推薦」については、「一般選抜」と同日程で実施することについて説明があった。

委員から、9月に開催した臨時会後の状況について質問があり、県立学校課長から、意見や要望等が電話で38件、メールで8件寄せられたとの説明があった。

委員から、新しい入学者選抜が導入されて一般選抜の実施日程が従来の後期選抜の実施日程とほぼ同時期となったことで、前期選抜がなくなったことに対する対応について質問があり、県立学校課長から、10月上旬に緊急開催した県立学校長会議において、新しい入学者選抜制度の内容等について説明を行い、中学校への説明や学校説明会の開催を通して周知徹底の協力を依頼したとの説明があった。

委員から、一般選抜の実施日程で配慮した項目について質問があり、県立学校課長から、卒業式等の行事予定を把握して重複することなく、また生徒への進路指導が十分できる期日としたとの説明があった。

委員から、私立学校の試験日との関係について質問があり、県立学校課長から、1月下旬の試験日であるために、約1か月の期間があるとの説明があった。

委員から、日程が3月中旬となることで、中学校での授業内容や学力検査の内容について質問があり、県立学校課長から、各教科において教育課程を網羅でき、出題範囲が広がるとの説明があった。

以上の審議の結果、原案のとおり決定した。